合併建設計画・各論（素案）

まちづくりの骨格となる施策「リーディングプロジェクト」

合併建設計画の各論では、総論で述べられているまちづくりの基本理念に従って、具体的なまちづくり計画とそれに伴う概算事業費が盛り込まれることになっています。

また、合併後10年間の計画期間におけるまちづくりの姿を明確にするために、その骨格となるべき3つの施策を「リーディングプロジェクト」としてまとめています。

各論の重要な柱であるリーディングプロジェクトの概要と、そのイメージをお知らせします。

総論	1 新市の基本理念	世界にはばたく交流拠点の実現 高次都市機能と豊かな自然環境との調和・共存
	2まちづくりの方向	活力ある産業が展開するまち 多様な交流ができるまち 自然と共生できるまち ゆとりと潤いのあるまち 一人ひとりの思いを受けとめるまち

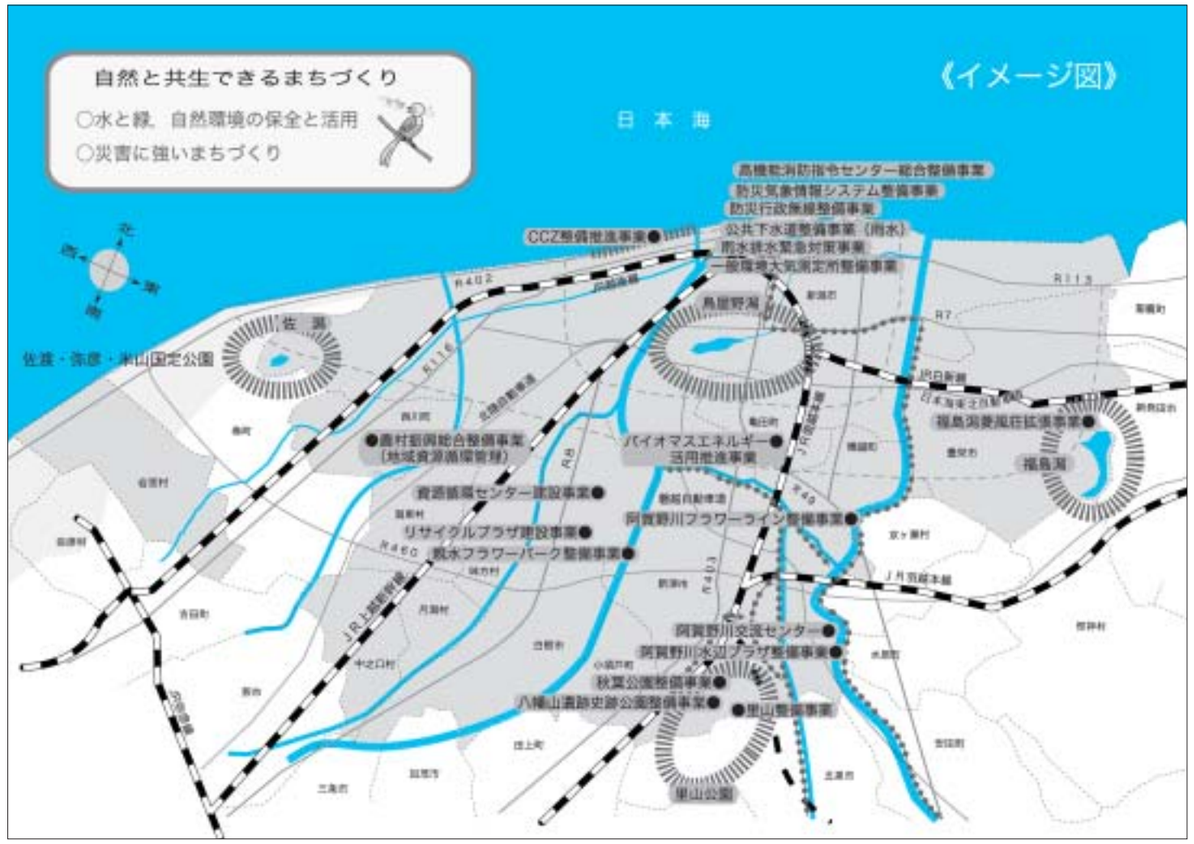
各論（まちづくり計画）	1 まちづくり計画の全体像	
	2 まちづくり計画における施策の体系	
	3 リーディングプロジェクト	(1)交通体系の整備 (2)産業の振興 (3)自然と共生できるまちづくり

リーディングプロジェクト

(3) 自然と共生できるまちづくり

新市は、魅力ある豊かな自然に恵まれており、その自然環境に調和し、共生していくことが求められます。

物質的な豊かさの追求から精神的な豊かさの追求という価値観の変化に対応して、私たち一人ひとりが環境保全や自然との共生に向けたまちづくりを進める必要があります。



※このイメージ図は、今後の協議により変わる場合があります。

新市は、豊かに広がる田園、水辺、緑地および里山を有しており、佐渡・弥彦・米山国定公園に指定されている山と海があります。それら新市の魅力となるかけがえのない豊かな自然環境に調和し、共生していくまちづくりを進めます。

また、資源を大切にするまちづくり、環境にやさしい農業の推進など快適な環境を守り育む循環型社会の構築を目指すとともに、災害に強いまちづくりを進めます。